

平成31年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年10月10日

上場会社名 株式会社ビットワングループ 上場取引所 東
 コード番号 2338 URL http://www.bitone-g.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 高橋 秀行
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 村山 雅経 (TEL) 03(5360)8998
 四半期報告書提出予定日 平成30年10月12日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年2月期第2四半期の連結業績(平成30年3月1日～平成30年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年2月期第2四半期	354	△43.7	△164	-	△205	-	△157	-
30年2月期第2四半期	628	△80.2	△45	-	△53	-	△89	-

(注) 包括利益 31年2月期第2四半期 △182百万円(-%) 30年2月期第2四半期 △105百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年2月期第2四半期	△22.89	-
30年2月期第2四半期	△18.63	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年2月期第2四半期	1,123	954	84.0
30年2月期	775	543	69.7

(参考) 自己資本 31年2月期第2四半期 943百万円 30年2月期 540百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年2月期	-	0.00	-	0.00	0.00
31年2月期	-	0.00	-	-	-
31年2月期(予想)	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年2月期の連結業績予想(平成30年3月1日～平成31年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,285	124.3	126	-	85	-	75	-	14.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 - 社(社名) - 、除外 - 社(社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

31年2月期2Q	7,081,987株	30年2月期	6,261,987株
31年2月期2Q	38,400株	30年2月期	38,400株
31年2月期2Q	6,857,608株	30年2月期2Q	4,805,326株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) キャッシュ・フローの状況	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11
3. その他	12
継続企業の前提に関する重要事象等	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調で推移いたしました。世界経済におきましても、米国は景気回復が継続しており、アジア地域においても緩やかな景気持ち直しの傾向が見られておりますが、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、事業ポートフォリオの再構築により、新規事業として開始したフィンテック事業の立ち上げに努めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間につきましては、売上高354百万円（前年同期比43.7%減）、営業損失164百万円（前年同期は45百万円の営業損失）、経常損失205百万円（前年同期は53百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失157百万円（前年同期は89百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメントの業績を示すと、次の通りであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントとして記載する事業セグメントを変更しており、当第2四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

①フィンテック事業

当社グループは、第1四半期連結会計期間より当事業を新たな事業セグメントとして追加いたしました。当事業は、仮想通貨取引所運営事業、マイニング事業等からなります。仮想通貨取引所運営事業に関しては、平成30年6月1日より香港にて取引所を開設し、マイニング事業に関しては、平成30年3月1日より稼働を開始しております。香港における仮想通貨取引所のシステム構築費用については、第2四半期連結累計会計期間において22百万円（個別会計上は51百万円）全額を研究開発費として費用処理しております。その結果、売上高は10百万円、売上構成比は2.3%となりました。セグメント損失（営業損失）は136百万円となりました。

②システムソリューション事業

当事業におきましては、当社グループのフィンテック事業で利用する仮想通貨取引所システムの開発を行ったため、セグメント間の内部売上高は増加しておりますが、受託開発において新規案件の失注や既存顧客からの注文数減少により外部顧客への売上高が減少しております。その結果、売上高は172百万円（前年同期比32.3%増）、売上構成比は38.0%となりました。セグメント利益（営業利益）は111百万円となり、前年同四半期と比べ71百万円（前年同期比174.6%増）の増益となりました。

③アイラッシュケア事業

当事業におきましては、第1四半期連結会計期間において、当社グループの事業ポートフォリオ再構築の一環として、香港子会社であったPlurecil Holdings Limitedの持分を売却し当社グループの連結対象外とするとともに、人事制度や商品仕入先の見直し、経費の削減等を行い、より良い品質のまつげエクステサービスの提供を進めてまいりました。その結果売上高は270百万円（前年同期比25.8%減）、売上構成比は59.7%となりました。セグメント利益（営業利益）は41百万円となり、前年同四半期と比べ34百万円（前年同期比503.0%増）の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて8百万円減少し、437百万円となりました。これは、主に現金及び預金が17百万円、前渡金が63百万円減少し、商品及び製品が12百万円、未収消費税等が23百万円、その他の流動資産が27百万円増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ355百万円増加し、685百万円となりました。これは、主に有形固定資産が423百万円増加し、のれんが11百万円、長期貸付金が173百万円、投資その他の資産のその他が17百万円、貸倒引当金が137百万円減少したことなどによります。総資産は、前連結会計年度末に比べて347百万円増加し、1,123百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて9百万円減少し、154百万円となりました。これは、主に買掛金が13百万円増加し、1年内返済予定の長期借入金が33百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ54百万円減少し、13百万円となりました。これは、主に長期借入金が50百万円減少したことなどによります。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて411百万円増加し、954百万円となりました。これは、主に非支配株主持分が10百万円減少したこと、及び第6回新株予約権の行使により資本金及び資本剰余金がそれぞれ278百万円、新株予約権が19百万円増加したこと、並びに親会社株主に帰属する四半期純損失を157百万円計上したことなどによります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べて17百万円減少し、257百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の営業活動の結果、減少した資金は143百万円（前年同期は17百万円の増加）となりました。これは主に売掛金及びたな卸資産の増加によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の投資活動の結果、減少した資金は327百万円（前年同期は149百万円の増加）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の財務活動の結果、増加した資金は453百万円（前年同期は135百万円の減少）となりました。これは主に新株予約権の行使による株式の発行による収入によるものです。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成30年10月10日に公表いたしました「平成31年2月期における第2四半期連結累計期間の業績予想と実績値の差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」のとおりです。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	284,715	267,499
受取手形及び売掛金	62,893	76,586
商品及び製品	38,573	50,764
仕掛品	4,273	452
前渡金	63,664	-
未収消費税等	-	23,165
その他	25,755	53,098
貸倒引当金	△33,747	△33,754
流動資産合計	446,128	437,812
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	55,422	34,234
減価償却累計額	△20,212	△6,873
建物及び構築物(純額)	35,210	27,360
機械、運搬具及び工具器具備品	35,975	238,388
減価償却累計額	△13,712	△42,181
機械、運搬具及び工具器具備品(純額)	22,263	196,206
建設仮勘定	21,244	278,204
有形固定資産合計	78,718	501,772
無形固定資産		
のれん	176,017	164,661
その他	4,890	4,072
無形固定資産合計	180,908	168,734
投資その他の資産		
長期貸付金	267,450	94,000
破産更生債権等	64,024	63,238
その他	34,826	17,094
貸倒引当金	△296,605	△159,557
投資その他の資産合計	69,696	14,775
固定資産合計	329,322	685,282
資産合計	775,450	1,123,094
負債の部		
流動負債		
買掛金	6,257	19,294
未払金	28,985	32,470
1年内返済予定の長期借入金	110,372	77,120
未払法人税等	4,123	3,608
その他	14,114	22,160
流動負債合計	163,853	154,653
固定負債		
長期借入金	50,000	-
退職給付に係る負債	14,650	11,986
その他	3,340	1,798
固定負債合計	67,991	13,784
負債合計	231,844	168,438

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,484,207	1,762,291
資本剰余金	1,076,231	1,354,315
利益剰余金	△1,960,218	△2,113,658
自己株式	△58,994	△58,994
株主資本合計	541,226	943,954
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△957	△925
その他の包括利益累計額合計	△957	△925
新株予約権	3,337	22,586
非支配株主持分	-	△10,959
純資産合計	543,605	954,655
負債純資産合計	775,450	1,123,094

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年8月31日)
売上高	628,917	354,115
売上原価	265,081	124,731
売上総利益	363,836	229,383
販売費及び一般管理費	409,308	393,627
営業損失(△)	△45,472	△164,244
営業外収益		
受取利息	1,381	176
受取配当金	63	0
賃貸収入	2,777	-
貸倒引当金戻入額	-	229
その他	2,944	3,085
営業外収益合計	7,167	3,491
営業外費用		
支払利息	11,584	1,421
賃貸費用	1,869	-
為替差損	1,649	1,297
支払手数料	-	38,329
その他	-	3,302
営業外費用合計	15,103	44,350
経常損失(△)	△53,409	△205,102
特別利益		
投資有価証券売却益	8,985	-
新株予約権戻入益	2,101	-
子会社株式売却益	-	32,968
特別利益合計	11,086	32,968
特別損失		
固定資産除却損	2,668	-
関係会社株式売却損	44,060	-
その他	-	70
特別損失合計	46,728	70
税金等調整前四半期純損失(△)	△89,051	△172,204
法人税、住民税及び事業税	3,142	9,217
法人税等調整額	1,642	-
法人税等合計	4,785	9,217
四半期純損失(△)	△93,836	△181,421
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△4,315	△24,419
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△89,520	△157,002

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年8月31日)
四半期純損失(△)	△93,836	△181,421
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10,977	-
為替換算調整勘定	△681	△925
その他の包括利益合計	△11,658	△925
四半期包括利益	△105,495	△182,346
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△96,362	△157,927
非支配株主に係る四半期包括利益	△9,132	△24,419

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△89,051	△172,204
減価償却費	4,537	30,854
のれん償却額	36,763	11,355
為替差損益(△は益)	1,691	-
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△89	△154
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	94	△2,664
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	3,422	-
受取利息及び受取配当金	△1,381	△176
支払手数料	-	38,329
支払利息	11,584	1,421
投資有価証券売却損益(△は益)	△8,985	-
新株予約権戻入益	△2,101	-
固定資産除却損	2,668	-
固定資産売却損益(△は益)	-	70
関係会社株式売却損益(△は益)	44,060	△32,968
売上債権の増減額(△は増加)	162,567	△13,692
たな卸資産の増減額(△は増加)	14,675	△11,075
未収入金の増減額(△は増加)	△1,555	1,974
仕入債務の増減額(△は減少)	△120,837	13,280
長期未払金の増減額(△は減少)	-	△1,541
その他	△58,953	4,824
小計	△888	△132,365
利息及び配当金の受取額	763	176
利息の支払額	△2,885	△1,421
法人税等の還付額	21,973	0
法人税等の支払額	△1,150	△9,732
営業活動によるキャッシュ・フロー	17,812	△143,343
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△98,115	-
定期預金の払戻による収入	354,025	-
有形固定資産の取得による支出	△9,820	△413,667
有形固定資産の売却による収入	-	126
投資有価証券の取得による支出	△8,337	-
投資有価証券の売却による収入	18,609	-
貸付けによる支出	-	-
貸付金の回収による収入	4,633	46,398
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	△110,785	-
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	-	31,607
その他	△376	8,198
投資活動によるキャッシュ・フロー	149,833	△327,337

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年8月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△300,000	-
長期借入金の返済による支出	△59,135	△83,252
新株予約権の行使による株式の発行による収入	224,000	510,090
新株予約権の発行による収入	-	26,998
財務活動によるキャッシュ・フロー	△135,135	453,836
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,082	△371
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	31,428	△17,215
現金及び現金同等物の期首残高	518,390	274,715
現金及び現金同等物の四半期末残高	549,819	257,499

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当社グループは、前連結会計年度において売上高が著しく減少し、営業損失が発生したことに加え、営業活動によるキャッシュ・フローがマイナスとなりました。当第2四半期連結累計期間におきましても、引き続き、売上高が著しく減少し、営業損失、経常損失、親会社に帰属する四半期純損失を計上しており、営業キャッシュ・フローもマイナスとなっております。これらの状況により、継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。当社グループは、当該状況を早急に解消するため、以下の施策を実施して参ります。

「フィンテック事業」では、香港に開設した仮想通貨取引所の口座数や取引額の増大のためのマーケティング活動等に尽力し、マイニングについても更なる効率の増大を図ります。

「システムソリューション事業」では、新規パートナーの開拓及び既存パートナーとの更なるビジネス連携強化に努め、社会的ニーズに対応する技術や製品のための研究開発を強化し、付加価値の高い製品やITソリューションを提供してまいります。

「アイラッシュケア事業」では、スタッフの商品知識とお客様のニーズにあった提案力を高め、顧客コミュニケーション能力、販売力の向上を図るとともに新サービス紹介やエクステデザインの提案等をSNSで情報発信することにより店舗への来店喚起を強化してまいります。また、既存の国内事業の立て直しを図り、人事制度や商品仕入先の見直し、経費の削減等を推し進めてまいります。

これら今後必要となる事業資金の確保については、資金調達で得た資金や手元資金の他、必要に応じた新たな資金調達を検討することで対応してまいります。

しかし、これらの対応策の実現可能性は、市場の状況、需要動向、他社との競合等の影響による成果を負っており、新株予約権者や投資家の御意向や事業計画の達成如何にも左右されるため、現時点では継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められます。

なお、四半期連結財務諸表は継続企業を前提として作成されており、上記のような重要な不確実性の影響を反映しておりません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成29年3月1日至平成29年8月31日)

1. 配当に関する事項

該当事項はありません。

2. 株主資本の著しい変動に関する事項

平成29年8月1日及び平成29年8月30日並びに平成29年8月31日に第6回新株予約権が行使されております。これにより、資本金及び資本準備金がそれぞれ113,911千円増加しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成30年3月1日至平成30年8月31日)

1. 配当に関する事項

該当事項はありません。

2. 株主資本の著しい変動に関する事項

当社は、平成30年3月27日付で、KINGDOM CAPITAL RESOURCES LIMITED、平成30年5月9日付で遠南企業股分有限公司からそれぞれ新株予約権の権利行使を受け、新株の払込みを受けました。この結果、当第2四半期連結累計期間において資本金及び資本準備金がそれぞれ278百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末において資本金が1,762百万円、資本剰余金が1,354百万円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成29年3月1日至平成29年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	フィンテック事業	システムソリューション事業	アイラッシュケア事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	—	106,285	365,301	471,586	157,330	628,917	—	628,917
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	24,335	—	24,335	—	24,335	△24,335	—
計	—	130,621	365,301	495,922	157,330	653,253	△24,335	628,917
セグメント利益又は損失(△)	△987	40,666	6,874	46,553	△20,183	26,369	△71,842	△45,472

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△71,842千円は、セグメント間取引消去△24,335千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△47,506千円であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成30年3月1日至平成30年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	フィンテック事業	システムソリューション事業	アイラッシュケア事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	10,387	72,746	270,981	354,115	—	354,115	—	354,115
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	100,039	—	100,039	—	100,039	△100,039	—
計	10,387	172,785	270,981	454,154	—	454,154	△100,039	354,115
セグメント利益又は損失(△)	△136,372	111,666	41,448	16,742	—	16,742	△180,986	△164,244

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△180,986千円は、セグメント間取引消去100,039千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用80,947千円であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結期間より「フィンテック事業」を追加しております。

尚、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、上記セグメント変更後の報告セグメント区分に基づき作成したものを開示しております。

3. その他

(継続企業の前提に関する重要事象等)

当社グループは、前連結会計年度において売上高が著しく減少し、営業損失が発生したことに加え、営業活動によるキャッシュ・フローがマイナスとなりました。当第2四半期連結累計期間におきましても、引き続き、売上高が著しく減少し、営業損失、経常損失、親会社株主に帰属する四半期純損失を計上しており、営業キャッシュ・フローもマイナスとなっております。これらの状況により、継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。当社グループは、当該状況を早急に解消するため、以下の施策を実施して参ります。

フィンテック事業では、香港に開設した仮想通貨取引所の口座数や取引額の増大のためのマーケティング活動等に尽力し、マイニングについても更なる効率の増大を図ります。

システムソリューション事業では、新規パートナーの開拓及び既存パートナーとの更なるビジネス連携強化に努め、社会的ニーズに対応する技術や製品のための研究開発を強化し、付加価値の高い製品やITソリューションを提供してまいります。

アイラッシュケア事業では、スタッフの商品知識とお客様のニーズにあった提案力を高め、顧客コミュニケーション能力、販売力の向上を図るとともに新サービス紹介やエクステデザインの提案等をSNSで情報発信することにより店舗への来店喚起を強化してまいります。また、既存の国内事業の立て直しを図り、人事制度や商品仕入先の見直し、経費の削減等を推し進めてまいります。

これら今後必要となる事業資金の確保については、資金調達で得た資金や手元資金の他、必要に応じた新たな資金調達を検討することで対応してまいります。